

LIOM

LEC

会報 No.744



2016

4



栗原市長、おおいに語る。

2月第2例会(平成28年2月18日(木))



We Serve

沼津ライオンズクラブ

国際協会モットー

“We Serve” 「われわれは奉仕する」

国際テーマ

“命の尊厳と和”

334複合地区スローガン

“心の平和は 健康への第一歩”
～人間から人間へ 心をつなげて～

334-C地区スローガン

“感動の輪を築く同志の輪”

クラブスローガン

『温故創新』

1月

第1例会

新年例会

後藤丸ーラストスパートに向けて力強く踏み出すー

1月7日(木)沼津リバーサイドホテルにおいて新年例会が開催されました。本年度スローガンとして掲げられた『温故創新』のクラブ運営・奉仕事業も、いよいよ仕上げ段階となる後期に向けて、後藤会長の年頭挨拶にも熱が籠もり、それを受けてメンバー一同、クラブ活動にも、おのこの事業にも一層の飛躍を誓い合って、新年のスタートを飾るのにふさわしい明るく楽しい例会となりました。



▲年頭の挨拶をする後藤会長

年申男



- L.足立吉松(1932.3.9生)
- L.乾 精治(1944.9.3生)
- L.細沼信二(1956.1.14生)
- L.杉山由博(1956.6.22生)
- L.石原敏行(1968.1.23生)
- L.伊籐健一(1968.9.17生)



MJF献金者

- L.横山 業(14回目) L.服部行眞(11回目) L.足立吉松(9回目)
- L.大古田一郎(9回目) L.乾 精治(4回目) L.森 幹生(4回目)
- L.土屋達郎(4回目) L.赤堀肇紀(4回目) L.後藤行宏(3回目)
- L.柏木雅博(1回目)

- L.村林照夫(分割献金)
- L.大川祐輝(分割献金)
- L.清水英一郎(分割献金)



古稀

- L.大古田一郎(1946.6.3生)
- L.村林照夫(1946.9.17生)



ライオンズは楽し!! 和やかな新年の宴



▲新年にふさわしく升酒で乾杯

威勢よく杵をつく後藤会長▶
L.加藤明子との息もピッタリ!!



新春ダーツでスピーチ大会

ダーツの矢が当たったテーマで即興のスピーチ。ほぼ全員のメンバーが制限時間内に楽しく見事なスピーチをしてくれました。



1月

第2例会

2015～2016年度前期決算報告・監査報告

1月21日(木)沼津リバーサイドホテルで行われた1月第2例会では、会計L.杉山由博による2015～2016年度前期決算報告および監査委員L.竹村喜次による監査報告があり、前期決算が無事承認されました。また、新会員L.杉山純哉、L.加藤明子によるメンバースピーチもありました。



▲監査報告をするL.竹村



▲メンバースピーチをするL.加藤(明)とL.杉山(純)



▲1月誕生月のメンバーによるローア、おめでとうございます

2月

第1例会

出席委員会担当例会

2月4日(木)沼津リバーサイドホテルにおいて出席委員会担当による2月第1例会が行われました。講師に沼津上本通り商店街理事の長谷川徹様をお迎えして『沼津商業界戦後昭和史』と題してご講演いただきました。みずから上本通り商店街において店舗を営まれている講師は、平成25年1月31日の西武沼津店閉店を機に昭和の沼津商業(商店街)の終焉を強く感じ、今のうちに沼津の戦後商業史をまとめておかないと沼津の商店街の興亡の痕跡すら残らないと危機感を募らせるとともに、これを発信することによって次の世代が平成の沼津商業史を引き継いでくれることを期待して、地道に、そして丹念に、この資料史をまとめられました。大空襲で焼け野原となりながらも遅く建ち上った戦後の沼津市の商店街は、めざましい発展をとげ、静岡県東部随一の商都として繁栄をきわめました。しかし、現在は御多分にもれず、全国の地方都市同様、商店街は精彩を欠いているのは事実です。しかし、沼津の街を愛し、熱く熱く語られる講師の姿を見ていると、沼津商人のパワーとポテンシャルのDNAは沼津の次代を担う若い世代にも引き継がれ復活を期待させてくれるような講演でありました。



▲講師を紹介する担当委員長のL.芦澤



▲講師の長谷川氏、まさに戦後沼津の商業史の生き字引である



2月

第2例会

GMT・GLT委員会担当例会

2月18日(木)沼津リバーサイドホテルにおいてGMT・GLT(会員)委員会の担当で2月第1例会が開催されました。

例会に先立ち2016～2017年度役員候補指名会が行われ、例会において指名委員会委員長L.森幹生より次年度クラブ役員候補者が発表され慎重審議の末、次期クラブ役員が承認されました。

さて、今回の例会の講師としてお迎えした栗原裕康沼津市長は会員委員長L.前田利定の同級生でもあり、昨年の例会においても講師をお願いしてあったのが、当日、議会の審議延長という突発事態によってキャンセルとなり、今回、お忙しい公務の中を縫って、駆け付けていただき、ようやく実現したものであります。

『沼津市のまちづくり』をテーマとした講演の内容は多岐にわたり、「県東部一の魅力ある街＝沼津」を目標に掲げる市長は、懇切、丁寧にわかりやすい語り口で、沼津市の現状についてお話ししてくれました。

現在、沼津市は人口減少という大きな問題に直面しており、昨年の国政調査では人口19万5千人と20万人を大きく割り込み、出生率も県平均を下回る1.46。加えて、東日本大震災後の誇大とも思われる津波被害のイメージ悪化により人口流出が続いていると



このこと。このまま人口減少に歯止めがかからなければ、他の地方都市同様に中心市街地を中心に衰退していくのは目に見えており、成長エンジンとしての人口増加対策が喫緊の課題のようです。

◀講演をする栗原市長

しかし、「沼津は大鍋の底で掘り返せば、まだまだ、いろいろな物が出てくる」とも述べられ、沼津が持つポテンシャルについても語られました。

ハード面では①鉄道高架の早期実現による跡地スペースの有効利用、②都市計画道路沼津・三島線により新幹線三島駅により近くなるという利便性の向上、③スマートインターチェンジによる利便性向上。

ソフト面では①中央公園や狩野川階段堤でのイベント開催による若者中心の賑わいの兆し、②高校を中心として学校が多いことによる昼間人口の多さ、③インバウンドや深海魚水族館などを中心とした港周辺の賑わいと入れ込み人口の増加、④災い転じて福となすではないが、「高尾山古墳」が東日本最古級の前方後方墳として国の史跡指定を受ける可能性があり、これを沼津の誇りとしてPRしたい…等々、いくつかの好材料を上げられました。

いずれにせよ●トップ(市長)の高い理想と迅速な決断力、●市職員の意識改革、●市民の市政への関心と積極的参加など、三者すべてが当事者意識を持つことにより、「沼津市の衰退」を全体の問題として捉え、手を携えて対処していかななくてはならないと感じた講演でありました。

2016～2017年度クラブ役員予定者

会長	L. 村林 照夫
前会長	L. 後藤 行宏
第一副会長	L. 大川 祐輝
第二副会長	L. 小原 嘉弘
幹事	L. 小林 龍司
会計	L. 井上 孝喜
ライオン・テーマ	L. 橋本 賢一
テール・ツイスター	L. 清水英一郎
会員理事	L. 赤堀 肇紀
2年理事	L. 野田金次郎
2年理事	L. 名取 正純
1年理事	L. 芹澤 明寛
1年理事	L. 柏木 雅博
監査委員	L. 市川 洋一
監査委員	L. 杉山 由博



▲指名を受けて挨拶する2016～2017年度会長予定者L.村林照夫



▲担当委員長L.前田と指名委員長L.森によるローア

3月

第1例会

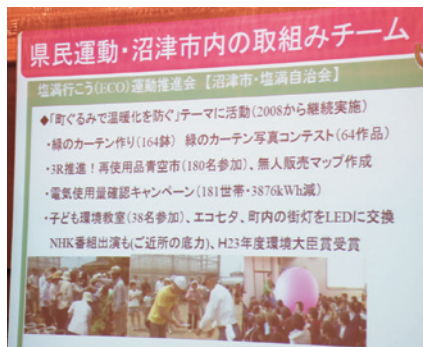
環境保全委員会担当例会

3月3日(木)ホテル沼津キャッスルにおいて環境保全委員会の担当で3月第1例会が開催されました。静岡県地球温暖化防止活動推進センターのゼネラルマネージャー服部乃利子様を講師としてお迎えし、『地球温暖化と私たちの暮らし』というテーマで、大きなスクリーンを利用して、わかりやすく、楽しく講演していただきました。CO₂を含む温室効果ガスの増加で地球の平均気温が上昇する地球温暖化現象。過去132年間で平均地上気温は0.85℃上昇し、このままCO₂を排出し続けると今世紀末までには最大4.8℃上昇して、世界の平均海面水位は1986～2005年と比較して26～8cmも上昇することが予測されるそうです。このような地球温暖化の進行は異常気象・生態系の破壊・農作物への影響・健康被害など、深刻な弊害をもたらすため、産業部門を含めて全世界的に取り組まなければならない問題なのですが、家庭部門での日常的な省エネのためのエコ活動もきわめて重要なようです。冷蔵庫を長く開け放たない、照明器具はこまめに消す、テレビ画面の明るさを落とす(ダイナミックモード→スタンダードモード)、水道の水を出しっ放しにしない、車はゆっくりスタートするなど日々の暮らしの中で実践すべきことを指摘していただきました。

なお、当夜は三島ライオンズクラブより会長L.高橋邦夫、幹事L.鈴木啓之、会計L.芹澤学、4R2Z前ZCL.前田磨の4ライオンが例会訪問としてお越しになりました。



▲講師の服部乃利子様



▲沼津市・塩満自治会のエコ運動も紹介されました



▲三島ライオンズクラブより4ライオンが例会訪問

3月

第2例会

YCE委員会担当例会

3月17日(木)沼津リバーサイドホテルにおいてYCE委員会の担当で3月第2例会が行われました。講師に中国国際放送局(北京放送)勤務の高橋恵子様をお迎えし、『中国の今』というテーマで講演していただきました。高橋恵子さんは沼津市の出身で、担当委員長のL.土井宣博やL.服部徹一郎の同級生。現在、北京放送の日本語部でラジオ番組制作、出演、指導、ニュース原稿チェックなどにあたられています。最近の日本のマスコミでは、中国の軍事・外交・経済・環境など、なにやらきな臭い



▲にこやかに講演していただいた高橋恵子様

報道が多く、また中国における反日感情の高まりも感じてしまうのですが、高橋さんのお話しされる中国の市民生活を中心とした話題は、素顔の中国および中国人の一面を知ることができ、たいへん興味深いものがあり、真の友好と相互理解には民間交流が不可欠であると感じさせるものでした。

なお、この例会をもって退会されるL.齋藤研一よりお礼とお別れのスピーチがありました。



▲鎖骨骨折の重症にもかかわらず担当委員長としての任を果たしたL.土井



▲L.齋藤、いろいろとお世話になりました。ありがとうございます



沼津ライオンズクラブ麻雀大会開催される

— 沼津ライオンズクラブ選りすぐりの新旧精鋭雀士が集結 —

2月13日(土)14:00より沼津ライオンズクラブ麻雀大会が雀荘クーロンにおいて開催され、13名の会員・元会員が参加しました。クラブ内の麻雀大会は久しく開催されておらず、ベテラン会員・若手会員の交流・親睦を深めるためにも久しぶりに卓を囲んでみようという後藤会長の発案で実施されたものです。我こそはという腕自慢の名(迷?)雀士による熱戦がくりひろげられ、おおいに盛り上がり楽しい麻雀大会となりました。



優勝

L. 服部行眞

準優勝

L. 市川洋一

第2回NPO法人沼津体育協会会長杯 学童軟式野球大会

開会式 3月6日(日)

決勝戦・閉会式 3月26日(土)
(沼津市宮球場)

優勝

開北リトルイーグルス

準優勝

第一キッドスターズ



▲優勝チームへ後藤会長よりライオンズカップ授与



▲開会式



▲沼津ライオンズカップ

「童話の花束」を 沼津市に贈呈

3月11日(金)後藤会長、柏木幹事、L.服部喜和(青少年委員会)、L.後藤弘知(PR情報委員会)が沼津市教育長室を訪問し、沼津市教育長 工藤達朗様に「童話の花束」400冊を贈呈しました。これはJX日鉱日石エネルギー(株)が主催する「心のふれあい」をテーマとした童話コンクールの優秀作品を掲載した絵本童話集で、こどもたちの豊かな心と読書習慣を育てるために当クラブが継続的に実施している事業です。なお、本書の贈呈にあたっては、毎年、L.土屋英治にご協力いただいております。

